

～ 昨日の風 明日の風 ～

## 経営コンサルタント 独白録

[第122回] 10年前は使えない？



戸敷 進一

1956年生まれ、宮崎県出身の経営コンサルタントで、(株)経営改善支援センター(福岡市、URL: <https://sien.co.jp/>)代表取締役。業種を問わない「組織活性化」の専門家で、全国300社以上の企業の活性化を指導。全国の商工会議所や企業などからの依頼で講演活動もおこなう。明確で分かりやすい表現で驚くほど短期間で「組織」を変えるのが強み。また、帝国データバンクの契約コンサルタントとして九州各地の企業を中心に多くの実績を上げている。

9月に福岡市博多区にある弊社オフィスのリニューアルを行いました。8年前に20名ほどが入れる研修室を閉鎖して以来のことでした。手狭ながらそれなりに仕事はできたのですが、時代変化を考えると少し思い切った行動が必要ではないかと考えたのです。

### まだ使えるはこの先使えない！

一応「5S活動」の専門家の会社ですから要領は充分理解しています。水の満ちた容器に新しい水は注げません。新しい企業活動に取り組む際はまず捨てることです(5S活動では【整理】と呼びます)。

スタッフ総出で徹底的にものを捨てました。事務机、椅子、書棚、会議用テーブル、受付カウンター…。研修で使っていた複数台のモニター、現役の32インチのモニターとデスクトップパソコン…。購入時に高価だった映像送信機材や特殊なプリンタまで捨てました。まだ使えるのではないかとというスタッフの質問にはこう応えました。

「まだ使えるは未来では使えない！法的制約のある文書は別にして3年間使わなかった文書や書籍も含めすべて捨てよう。時代変化に遅れないためにはまずは古いものを捨てなきゃ駄目だ！勿体無いは忘れて下さい」。

### 新しい空間と意識

リニューアルの大きな目的は、動画撮影の空間を確保することでした。情報通信技術が進んだ現在において、従来の発信方法だけでは足りないと考えたのです。床と壁紙を変え、特注の黒のブラインドに変え、新しいオフィス家具を揃えたオフィスは随分「今風」の事務所となりました。以前から弊社に出入りされていた方々は驚かれますし、新しい方々にとっても充分先端を目指していることが分かっていただけるようです。何よりも私を含め時代変化に対応するという意識がスタッフにも芽生えたように思えます。ある意味空間と意識は繋がっているようです。

### この10年の変化を実感

10月に入り単身赴任のマンションでも同様の

「整理」を行いました。3年前に引っ越した時にある程度ものを捨てたつもりでしたが、仕事柄付きまとう書籍や雑誌が部屋を占領してしまっています。ちまちまと何冊かずつでは追いつかず、金曜の夜から日曜の夜に一気に数百冊の本と雑誌を処分しました。

捨てながら気付いたことがありました。日本語、翻訳に関わらず10年前の経営書や時事関係の書籍はほとんど使いものになりません。特にマーケティングやIT、人材育成や人事労務、短期的な予測本はすでに紙屑です。付箋やペンで線を引いている部分に目を通して臍に落ちるものがほとんどありませんでした。

### スマートフォンの登場から15年

iPhoneが発売されたのは2008年でスマートフォンが登場してすでに15年。社会や個人の意識は大きく変わっていて、当時最先端であった思想や思考が現代では通用していません。SNSや新しいコミュニケーションについて触れている書籍はありましたが、現代社会の深い部分での変化まで予測している本はありませんでした。

スマートフォンの登場で、デジカメ需要が落ち、CDが売れず、地図が売れず、新聞や雑誌が落ち込み、テレビ離れが起きました。Amazonなどの台頭により流通の世界が変わり、デジタル通貨により金融も大変化を起こしています。こうしたリアルな変化を体験していると、10年前の最先端がいかに甘かったのかと言うことがよくわかります。

### 迫られるreborn (リボーン)

reborn (リボーン) とは「再生する」という意味です。体験は別にして、知識や感覚に関してはrebornが必要です。10年前の知識は現代では使いものにならず、将来においては足枷になるかも知れません。

スカスカになった本棚に残ったものは何冊かの哲学・宗教の本と歴史関係の書籍でした。日曜日の夜呆然として部屋に立ちすくみました。

「これから先10年の変化の速度は今までの倍の速さになるのではないか…」。